

平成17年度実施事務事業評価シート(1/4)

| | | | |
|-----------------|--------------------------------------|---|------------|
| 事務事業 No./名称 | ■サービス部門 保福-23 畜犬登録事務 | | 作成年月日 |
| | □支援部門 | | 平成18年6月15日 |
| 事務事業 単 位 | ザイムス コード及び 個別事業名 | 103 畜犬登録事務 | 調整年月日 |
| | | | 平成18年8月7日 |
| 主管課 | 市民健康課 | | |
| 関連課 | | | |
| 総合計画上の 位置づけ | 健やかで心豊に暮らせるまち～健康で生きがいに満ちた福祉のまちをめざします | | |
| 戦略目標 (目標値) | 狂犬病の発生予防、未登録犬の解消 | | |
| 実施計画事業名 | | | |
| 事務事業 の概要 | 目的 (対象、意図、 効果) | 対象(誰を、何を対象としているか) ・畜犬登録事務～市民が所有する犬 | |
| | | 意図(何のために行うのか) ・畜犬登録事務～狂犬病の発生予防、未登録犬の解消 | |
| | | 効果(どのような状態にしたいのか) ・畜犬登録事務～狂犬病予防注射接種率の向上、未登録犬の解消 | |
| | 事業活動 (手段、内容) | (どのような方法で何を実施したのか) ○畜犬登録事務 ・犬の登録(鑑札)、狂犬病予防注射済票の交付 ・収納指定獣医師として湘南獣医師会を指定し、犬の鑑札、注射済票の交付を委任した ・湘南獣医師会と共同で、狂犬病予防集合注射を実施し接種率の向上に努めた | |
| 16年度との 事業変更点 | (事業内容等で16年度と変わった点) | | |
| 事務事業 実績 | 17年度 | ○登録件数 うち集合注射 登録頭数 10,093頭 新規登録数 1,055頭 59頭 注射済票交付数 8,172枚 1,596枚 注射猶予頭数 370頭 | |
| | 16年度 | ○登録件数 うち集合注射 登録頭数 9,814頭 新規登録数 929頭 66頭 注射済票交付数 7,880枚 1,761枚 注射猶予頭数 298頭 | |

事務事業評価シート(3/4)

| 事務事業の評価 | | | | | | | |
|----------------|--|--------------|------------|--------------|------------|--------------|--|
| 視 点 | | 評 価 | | | | | |
| 市民等(成果)の 視点 | ・市民(利用者)の視点からこの事業(サービス)を行って、どのような成果を生み出したのか、また満足度はどうなのかを記述してください | | | | | | |
| | 狂犬病の発生予防、ペットの適正飼養についての市民のニーズは非常に高い。狂犬病予防集合注射の実施、指定獣医師への預託制度の充実により、接種率の向上と狂犬病予防事業に対する市民の理解が深まった。 | | | | | | |
| 評価スコア | | 16年度 | 17年度 | 18年度 | 19年度 | 最終年度 (年度) | |
| 狂犬病予防注射接種率 | 目標値 | 100% | 100% | 100% | 100% | | |
| | 実績値 | 82.8% | 84.0% | | | | |
| 財務の視点 | ・この事業に予算(人件費も含む)を投入して市民(利用者)に対してどのような効果があったのか、また人件費やコストがどのように効率的に運営ができたのか記述してください | | | | | | |
| | 年間、約700万円の犬の登録等手数料収入がある反面、畜犬登録等に要する経費は極めて少なく、限られた予算の範囲内で指定獣医師への預託制度の活用、狂犬病予防集合注射の実施など、飼養者の利便性を考慮した効率的な畜犬登録事務を推進した。 | | | | | | |
| 評価スコア | 指 標 | 16年度 | 17年度 | 18年度 | 19年度 | 最終年度 (年度) | |
| 鑑札・注射済票交付手数料 | 目標値 | | | | | | |
| | 実績値 | 7,132千円 | 7,688千円 | | | | |
| 運営プロセスの 視点 | ・担当職員や担当課が事業目的を実現する上で、事業過程の中でどのような部分に力を入れれば、市民(利用者)に対して効果的であるのか(であったのか)記述してください | | | | | | |
| | 畜犬登録事務を実施するにあたっては、指定獣医師(湘南獣医師会)と連携、協力し、様々な機会を通じて啓発していく必要がある。 | | | | | | |
| 評価スコア | 指 標 | 16年度 | 17年度 | 18年度 | 19年度 | 最終年度 (年度) | |
| 関係機関との連携 | 目標値 | 連携・協力体制の確立 | 連携・協力体制の確立 | 連携・協力体制の確立 | 連携・協力体制の確立 | 連携・協力体制の確立 | |
| | 実績値 | より一層努力を要す | より一層努力を要す | | | | |
| 運営資源の視点 | ・係や課内の職員の持つノウハウやスキル、情報を共有化するなど有効的に活用して、どのように事業効果を高めているのか、また、事業の一部ないし全体を市が実施するより民間委託することがより効率的な運営であるかについて記述してください | | | | | | |
| | 市の指定獣医師として湘南獣医師会を指定し、犬の登録(鑑札)・注射済票の交付を委任し、交付手数料の収納業務や、飼養者への適正飼養の啓発指導など、利便性の高い運用を図っている。また、狂犬病予防集合注射を共同で実施している。 | | | | | | |
| 評価スコア | 指 標 | 16年度 | 17年度 | 18年度 | 19年度 | 最終年度 (年度) | |
| 湘南獣医師会との連携 | 目標値 | 連携・協力体制の確立 | 連携・協力体制の確立 | 連携・協力体制の確立 | 連携・協力体制の確立 | 連携・協力体制の確立 | |
| | 実績値 | 対応できている | 対応できている | | | | |
| 目標達成状況の評価スコア | | 100%の成果(100) | | 80%以上の評価(80) | | | |
| | | 50%以上の評価(50) | | 50%未満の評価(10) | | | |

事務事業評価シート(4/4)

| | | |
|---------------|---------------|--|
| 創意・工夫・課題等改善状況 | 課題・問題点 | (16年度、17年度実施の事務事業についての課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・狂犬病予防集合注射を湘南獣医師会と共同で実施しているが、接種率が低下している ので、実施方法等を見直しする必要がある。 ・未登録犬の解消(把握) |
| | 創意・工夫・課題等の改善点 | (16年度、17年度実施の事務事業の課題・問題点についてどのような創意工夫、改善(対応)をしましたか) ・狂犬病予防注射の接種率の向上を目指し、集合注射の実施時期、会場、時間、職員の配置などについて見直しをした。また集合注射会場での資材等を整備した。 |
| | 未解決の課題・問題点 | (16年度、17年度実施の事務事業の課題・問題点について対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・未登録犬の解消(把握) |
| | 今後の方針(対応・改善) | (対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・狂犬病予防の観点から、未登録犬の登録促進を、様々な機会を通じて啓発していく。 |

| | | | | |
|---------|--|----------------------------|-----------|---|
| 今後の方向性 | A. 充実・拡大していく B. 現状のまま継続 | C. 効率化又は改善が必要 D. 統合又は縮小 | E. 廃止又は休止 | B |
| | 理由 犬の登録頭数及び予防注射接種率は、平成12年度の開始以降、順調は伸び率を示しており、今後もこの状況を継続していく。 | | | |
| 担当課長氏名: | | 市民健康課 渡邊 武二 | | |

二次評価(部長評価)

| | | | | |
|-------------|----------------------------|----------------------------|-----------|---|
| 今後の方向性 | A. 充実・拡大していく B. 現状のまま継続 | C. 効率化又は改善が必要 D. 統合又は縮小 | E. 廃止又は休止 | B |
| | 接種率向上、未登録犬解消が課題。 | | | |
| 担当部名: 健康福祉部 | | 部長氏名: 小川 研一 | | |